

ホナガクマヤナギ		<i>Berchemia longiracemosa</i> Okuyama	絶滅危惧Ⅱ類
		クロウメモドキ科	
選定理由	大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつあり、個体数が大幅に減少している。		写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	落葉低木で直立し、高さ2-3m。葉は互生し、長さ4-10cm、卵形または楕円形。葉裏は脈腋にわずかに黄褐色の毛がある。花は頂生の細長い総状花序につき、密に花がつく。		
生態的特徴	山地の落葉樹林の林縁に見られる。花期は6-8月。		
分布状況	日本固有種で、本州(日本海側)に分布する。岐阜県においては県北の西部に見られる。		
減少要因	生育環境である落葉広葉樹林の伐採や、植生遷移の進行による被圧。		
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項			
参考文献	「日本の野生植物 木本Ⅱ」(佐竹義輔ほか(編), 1989年)		

文責: 奥田浩之